



福島小学校だより

ふくしま

ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

No. 5

令和7年8月25日



始業式でこのようなこととお話ししました 校長 嶋田 暢也

夏休み前に配布した学校からのお知らせ「楽しい夏休みに（7月18日）」の中に、「日ごろ学校生活ではできない体験や学習をする機会をつくって欲しいと思います。」という一文がありました。皆さんは、どのような夏休みを過ごしましたか？

私は、日ごろの学校生活では体験できないことに挑戦してきました。その内の1つの出来事とそれから学び、大好きな皆さんに伝えたいこととお話させていただきます。

普段は忙しいため、セミナーや講演会に参加することはなかなかできないのですが、今年の夏休みは阪神タイガース元監督の矢野燿大さんの講演を聞かせていただきました。矢野さんは以下のこととお話してくださいました。

<出来事>

矢野燿大さんのお話の概要

心×行動=結果

10×1=10、100×1=100

1つの行動でも、その時の心の状態次第でその結果は大きく違ってくる。

脳と心を最幸（最高）の状態にする
3つのポイント&プラスα

1. 可能性を信じ切る

2. ピンチはチャンス

3. 誰かのために

+

感謝
(当たり前なのに感謝できる)

<矢野さんのお話を受けて、大好きな皆さんに伝えたいこと>

行動の結果はその時の心の状態に大きく影響を受けます。1つの行動をするとしても、心の状態が10であれば、その結果は10×1=10、心の状態が100であれば、その結果は100×1=100です。何事にも取り組む時に心が良い状態であることが大切です。

矢野監督は、就任1年目のシーズン終盤の残り6試合となった時にチームでミーティングを行いました。「みんなは子どもの頃、将来プロ野球の世界で野球をしたいと思ったはずだ。俺たちはプロ野球の世界で野球をできている、俺たちは子どもの時の「夢」の中で生きている。残りの6試合、その喜びを感じ感謝の気持ちを大切に戦っていかうじゃないか。」・・・(途中省略) 選手たちは期待に応えて全力で頑張ってくれました。私たちは、残り6試合を6連勝で飾りました。

私は矢野燿大さんのお話を聞いて感動しました。そして、大好きな福島小学校の児童の皆さん、先生たち、保護者の皆さんに伝えたいと思いました。このお話をすることで、皆さんが幸せになるための良い情報を伝えることができると感じたからです。

2学期は、9月に6年生の修学旅行、10月には全学年で運動会、秋フェス、5年生の加太合宿、11月に1～4年生の遠足、等たくさんの行事があります。秋フェスについては、育友会の皆さんに加えて地域の皆さんからもたくさんの協力をいただきます。それらの行事が行えることへの感謝の気持ちをもって、最幸（最高）の心の状態で取り組むことを期待します。



自分軸で生きる（「自分軸」と「自己中」の違いとは）

私が夏休み中に挑戦した「日頃ではできないこと」で、ユーチューブ動画にある「名言」を視聴することにも挑戦しました。その中で私の心に響いたのは「自分軸で生きる」です。人の意見や人からどう思われているか（評価されているか）がすごく気になってしまう自分にとって「自分軸で生きる」とはとても素敵な言葉に感じていました。そこで、「自分軸で生きる」について調べてみたところ、以下のことがわかってきました。

「自分軸で生きる」とは、他人の意見や評価に左右されず、自分の価値観や信念に基づいて行動することです。自分の内側の声に耳を傾け、自分が本当にやりたいこと、大切にしたいことを基準に行動することで、より充実した人生を送ることができるとされています。

とても素敵だと感じるとともに疑問も感じました。「自己中」という言葉で表現される「自己中心的（わがまま）」と、どこが違うのだろうか？皆さん説明できますか？

私が視聴した動画では、以下のことが紹介されていました。

1. 自己中な人は、他人を変えようとする。軸がある人は、自分を整える。
2. 自己中な人は、相手の意見を遮る。軸がある人は、違いを受け入れる。
3. 自己中な人は、「得」を最優先する。自分軸がある人は、「信念」を最優先する。

<解説>

「自己中」と「自分軸」は、どちらも「自分」を重視する点で似ていますが、他者との関係性において本質的な違いがあります。自己中は、自分の欲求や都合だけを主張したり従わせたりするだけで、相手を大切にしません。一方、自分軸は、自分の価値観や信念に基づき行動しつつ、他者の意見や感情も尊重する、より成熟した状態を指します。

「自己中」は、相手を変えたり従わせたりしようとするようになるため、そこには力が影響してきます。自分より力が弱い相手であれば、自分の意見は通りますが、自分より強い相手であれば、自分が従うしかありません。「自分軸」では自分も相手も大切にするので、お互いの合意を形成して、お互いが気持ちよく共存することができます。

2学期には、たくさんの行事があります。行事では、学級や他の学年と協力する機会もたくさんあります。そこでは、「自己中」ではなく「自分軸」、つまり自分も相手も両方尊重する行動をすることを期待します。(裏面は校長が夏休み中に学んだことを紹介します。興味のある方はご覧ください)

8月9月の学校行事予定です。

8/25 (月) 始業式 交通指導	9/2 (火) 体測2年	16 (火)・17 (水) 6年修学旅行 (奈良、京都方面)
26 (火) 交通指導 給食開始	3 (水) 体測3年	18 (木) 6年午前授業 13:20 下校
生活リズムチェック～9/1	4 (木) 体測6年	22 (月) ALT 来校
27 (水) 交通指導 体測6年	5 (金) 視力検査1・5年	23 (火) 秋分の日
夏休み作品展 10:00～16:00	6 (土) 秋フェス実行委員会 (九頭神社)	25 (木) 加太合宿説明会5年
28 (木) 体測4年	8 (月) 委員会 視力検査3年	26 (金) 学校教育課訪問
修学旅行説明会6年	9 (火) 視力検査2年	3年1組研究授業 14:35 頃下校
夏休み作品展 9:00～16:00	10 (水) 2年1組研究授業	3年1組以外 13:20 頃下校
29 (金) 体測1年	3年1組以外 13:20 頃下校	30 (火) 就学時健診
夏休み作品展 9:00～13:00	3年1組以 14:35 頃下校	5年1組以外 12:55 頃下校
9/1 (月) 交通指導 体測5年	11 (木) 視力検査4年	5年1組 15:00 頃下校
6年委員会写真撮影	15 (月) 敬老の日	